



産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今月は、市内企業の所有する様々な技術を紹介する「我が社の得意技」などについてお知らせします。

我が社の得意技 ⑭ 石綿(アスベスト)飛散防止剤の自社開発

株式会社塩崎組(中野甲)

■得意技は石綿飛散防止対策

「石綿を使用している現場で作業をするうちに、この石綿が固まらないかと考え、研究することになりました」と(株)塩崎組・塩崎久雄社長は語る。

塩崎組は大正10年創業の歴史ある企業である。建設業として長年地域に根ざしてきたが、公共事業の減少をいち早く予測した塩崎社長は、平成18年に新たに環境事業部を設置。社会的に問題視され始めた石綿対策に乗り出した。

現在では石綿の吹き付け、石綿使用製品の製造は原則禁止となっている。しかし、石綿除去には莫大な経費が必要であることや、使用中の建物内での石綿除去は、長期に渡

って石綿が飛散する危険性があるなどの理由により、いまだ多くの建物の石綿対策が行われていないのが現状である。

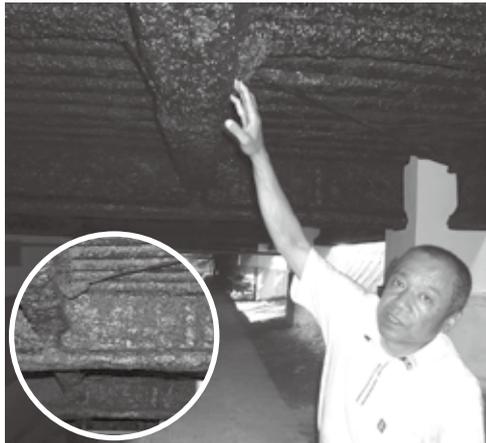
■ESタフクリート液の開発

塩崎組では使用中の建物内においても、石綿の表面を固めて飛散を防ぐことができる「封じ込め工法」を行

っている。また、封じ込めを行う際に、固まりやすく現場に適した飛散防止剤が必要と考え、自社製品「ESタフクリート液」を開発した。ES

タフクリート液は、中四国で初めて、石綿飛散防止剤として建築基準法に基づき建築材料としての

国土交通大臣認定を受けられており、既に石綿吹き付



▶安全性をアピールする塩崎社長とESタフクリート液で固まった石綿(円内)

▶石綿飛散防止剤として中四国で初めて建築基準法の認定を受ける



け現場でも活躍している。また、塩崎組では吹付石綿のはぎ取り工事や石綿含有建材の解体処分も行っている。

産業界では大学などの連携による産学連携がよく行われるが、このESタフクリート液は、塩崎社長の中学時代の先輩後輩による「先輩後輩連携」が実を結んだ。中でも塩崎組の顧問を務める椿本明仁(アスベスト診断士との二人三脚が、塩崎社長の新事業を開花させた。

「簡単、低価格にて、石綿飛散の不安を取り除くことができます。まずは無料相談をご利用ください」。塩崎社長の奮闘はスタートした。

(レポーター…技術相談室チーフアドバイザー 林)

サイクスからの事業案内

クラレ・サイクス「わくわく化学教室&工場見学」を開催

化学のおもしろさを知ってもらうため、今年度1回目の「わくわく化学教室&工場見学」を開催します。

■テーマ プラスチックフィルムってどんなもの？

■日時 8月23日(出)

9時~13時30分(昼食付)

■内容 わくわく化学教室と工場見学を行います。

■対象 小学5・6年生(保護者同伴も可能)

■定員 36人(申込者多数の場合、抽選で参加者を決定します)

■場所 クラレ西条事業所(朔日市892)

■参加費 無料

■申込方法

産業情報支援センターのホームページ、電話、ファックスのいずれかで、8月8日(金)までにお申し込みください。申込用紙は学校を通じて配布しています。産業情報支援センターのホームページからダウンロードもできます。